

学校教育目標		校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体现する生徒の育成			
重点努力事項		(1)アクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)の視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何ができるかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。			
分掌重点目標		規則正しい生活習慣を定着させる。 ルール・マナー・モラルの向上を図る。 特別支援教育の視点に立った生徒指導の充実			
柱となる活動	活動へ向けての努力事項 Do	到達目標	評価基準 Check	成果と課題 Do & Check	来年度への提言 Action
みずから学ぶ活動	食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身につけている生徒の育成 ・給食時間の指導 ・掲示物、配布物による啓発 ・生活振り返りアンケート・食生活アンケートの結果を基にした、生徒保護者に向けた啓発活動 ・給食委員会と連携した指導 「人権教育マネジメント」に基づき、 ・ 人権としての教育(学力保障) ・ 人権についての教育(人権意識を高める指導) ・ 人権が尊重された教育(仲間づくり) を全校体制で行う。 ○全校体制での給食活動係 ○人権感覚向上係	・早寝・早起き・朝ごはんの定着。 ・ 栄養バランスを考えて朝食を摂ることができる。 ・栄養の偏りなく食事をしようすることができる。 ・自分の思いを表現し、人の思いを受け止めながら、落ち着いた生活を実践することができる。 ・相手との対等な関係を考えながら会話・行動しようすることができる。	(生活振り返りアンケート) 「朝食を必ずとる」が90%以上 (食生活調査) 「主食・主菜・副菜がそろっている」 50%以上 「栄養のバランスを考えて食べている」 50%以上 「苦手なものでもがんばって食べている」50%以上 (人権教育アンケート) 「相手の意見も自分の意見も大切にし、話し合い、より良い方法を考える」の肯定的評価90%以上 「話し合い、協力し合って課題解決に取り組んだ」の肯定的評価 75%以上		
	規範意識の高揚、あいさつの強化 ・校内生活におけるルール・マナー指導 メディアとの付き合い方、情報モラルに関する啓発活動 ・生活振り返りアンケートを年3回実施(7・11・2月)し、集計・分析して生徒保護者への啓発 ・メディアとの付き合い方の啓発(講演会・授業における指導等) ・生活委員会指導 進んで健康増進活動や安全な生活に取り組む生徒の育成 ・基本的生活習慣の定着に向けた啓発活動を行う。 ・保・小・中が連携した歯みがき指導を実施する。 ・健康・安全を意識した生活の啓発活動を行う。 ・生徒保健委員会と連携して健康生活の啓発活動を行う。 進んで交通のマナーやルールを守る生徒の育成 ・町区別生徒会を利用し、通学路の徹底と危険箇所を確認し、意識を高めさせる。 ・バスのマナー、自転車のマナーの定着に向けた啓発活動を行う。 ・年4回の街頭指導により、生徒の登下校の様子を複数の教員の目で確認し、啓発活動を行う。 自ら進んで環境をよくしようとする生徒の育成 ・無言掃除、時間いっぱい掃除の徹底 <生徒会活動との連携> ○連携を密にする生徒指導係 ○自己他者を大切にする保健指導係 ○安全指導・交通安全係 ○全校体制での美化活動係	・ルールを守り、マナーを身につけ、モラルを高める。 ・相手の目を見てあいさつができる。 ・ 自分の方から進んであいさつができる。 ・メディアの利用を自己管理できるようになる。 ・早起き・早寝・朝ごはんの習慣が身に付く。 ・給食後の歯みがき・夜の歯みがきが習慣化できる。 ・昼休憩の体育館利用者が増える。 ・廊下でのけががない。(振興センター対象) ・生徒の交通安全の意識を高め、登下校中の交通によるトラブルを0にする。 ・積極的に清掃活動に取り組む生徒が増える。 ・緑化活動への参加者の増加	(生活振り返りアンケート) 「服装・頭髪など学校のルールを守って生活できていますか。」90%以上 「休憩時間はマナーよく過ごせていますか。」90% 「学校で先生や友達にあいさつすることができていますか。」相手の目を見てできている 60%以上 「学校がある日の放課後、1日にどれくらいメディアを見たり、使ったりしますか」2時間未満70%以上 「情報機器の使い方について、家族・朝食を食べる習慣が身につけている生徒が90%以上 ・睡眠時間7時間以上の生徒 70%以上 ・メディアの利用時間2時間未満の生徒平日70%以上 ・夜の歯みがき「3分より長く」65%以上 (生活振り返りアンケート) 「交通のルール、マナーを進んで守ることができた。」きちんと守ることができた。80%以上 公共の施設はマナーよく使用できていますか。きちんと守ることができた。80%以上 (生活振り返りアンケート) 「無言掃除ができていますか」肯定的評価 90%以上		
みんなと生きる活動	情報の共有と、チームによる対応・支援 ・不適応に係る話し合いを随時持ち、チームで対応する。 検討を要するケースについては、不適応対策委員会を随時開催し対応を検討して、職員会で共通理解をする。 ・年3回(5月GW、運動会、文化祭の後)、教育相談アンケートを実施し、不適応傾向が現れていない生徒等の実態把握と対応を行う(校務フォルダで全職員共通理解)。 全職員で共通理解・支援 ・「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」に基づいた支援活動を行う。 ・各学期1回、校内支援委員会を実施する。 ・年2回、校内就学指導委員会を開き、適切な就学指導を行う。 ・職員研修会を行う。(夏休みに実施) ・関係諸機関との連携。 ○不適応対策・教育相談係 ○特別支援教育係	・不適応の未然防止及び不適応生徒への適切な対応について、職員会等にて課題と目標を共有しチームで対応を行う。 ・生徒と関係教員等が同じ目標を意識し、できるようになったことを適切に評価するチーム支援を行う。 ・「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」に基づいて、教職員が連携し個別支援を行うことができる。 ・研修を行い具体的な支援法がわかる。	(教職員質問紙) 「学校不適応対策は委員会を中心に計画的に実施されている。」85%以上 (全校教育相談アンケート) 「不安なこと等(例、友達関係、学習、部活等)」を挙げることができる生徒50%以上 (教職員質問紙) 「一人ひとりの生徒に対し綿密な特別支援教育が実施されている」肯定的意見85%以上 (職員研修後アンケート) 「肯定的意見」80%以上		